

令和5年度事業報告

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

社会福祉法人 若宮会

特別養護老人ホーム わきたの里

ショートステイ わきたの里

グループホーム わきたの里

目 次

I はじめに（総評）

※令和5年度課題抽出結果

II 法人統括

1. 利用者処遇
2. 相談援助
3. 健康管理
4. 職員の資質及び専門性の向上

III 事業所別事業報告

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】について
2. （予防）短期入所生活介護【ショートステイ】について
3. （予防）認知症対応型共同生活介護【グループホーム】について

IV 各事業所利用実績

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】
2. （予防）短期入所生活介護【ショートステイ】
3. （予防）認知症対応型共同生活介護【グループホーム】

V 各事業所行事・研修報告

- ・令和5年度特別養護老人ホーム・ショートステイ行事・研修報告
- ・令和5年度グループホーム行事・研修報告

I はじめに（総評）

社会福祉法人若宮会における令和5年度の事業につきましては、当法人の基本理念と運営方針に基づき、各事業において、高齢者の方々が充実した毎日を過ごしていただけるように、利用者の目線にあわせた質の高い福祉サービス等の提供に努めることを目標に、それぞれの事業を推進してきました。

令和5年度では、主に2点の課題が浮き彫りとなりました。

1点目は、職員の質の向上になります。資質の向上や能力の向上は、法定研修等の既存の研修や外部研修等での向上が一部図られていますが、職員の質については、施設での教育や指導に大きく依存するところであり、このシステムが機能していないことによる質の低下が原因であると考えています。例を挙げると、医療機関とのトラブル（当法人スタッフが原因による）が数件発生しましたが、こうした場合のトラブル解決の仕組みがないことや、責任の所在が明確になっていないことにより、解決に時間を要するケース、誰も対応をしないケースなどがあり、結果として不適切な法人対応となっている状況が浮き彫りとなりました。また、指導や処分の内容が明確ではなく結果として大した指導も行えていないことから、同じ職員が同じようなトラブルを繰り返す現状となっています。

また、2点目としましては令和元年度からの特養退所率の異常な増加です。WAM NETの調べでは、全国平均27%台で推移するのに対し、当事業所では5年平均40%となっています。唯一実績のよかった令和3年度を除き全て全国平均を大幅に超過しています。わかりやすく解説すると他施設と比べ年間の退所者数が10人程多いということになります。個人の基礎疾患等の背景を除き、様々な要因を精査した結果、入所者の入所後のQOLの低下や重度化といった要因は捨てきれないのではないかと考えています。つまりケア自体に問題があることを否定できないということです。

なぜ、この2点の課題を令和5年度の課題として挙げたかということ、営業成果による新規入所者の持続的な獲得はすでにできていることから、この2点の改善ができれば、とりあえずは継続的な赤字問題を解決できる可能性が高いと考えているところにあります。反対に2点の課題解決ができなければ、今後も同じ状況か、もしくは1点目の課題により入所者が減少していくことも考えられます。また、両者とも職員教育と密接に関係することからその重要性の根拠としての意味も込めて今回挙げさせていただきます。

このような状況から、今後も継続的な運営を行うため、管理者を中心とする運営体制の充実と職員教育による個々のレベルアップ、それに伴うケアの質の確保を連動させ法人の市内外における地位向上と社会貢献に寄与できるような取り組みの推進にも繋げていきたいと思っております。

令和5年度の取組を推進していくなか、各事業所において抽出された課題については、以下のとおりです。

※令和5年度事業所別課題抽出結果

特別養護老人ホーム

- ・感染防止対策の標準化
- ・ICT機器の導入効果の検証
- ・人材の確保・定着促進と加算の取得
- ・事業継続計画の見直し
- ・職員教育と質の高い人材育成
- ・リスクマネジメントの強化

ショートステイ

- ・リスクマネジメントの強化
- ・利用者の確保
- ・長期利用に係る居宅介護事業所との連携
- ・機能訓練の必要性の周知と安定供給

グループホーム

- ・認知症ケアに係る介護サービスの質の向上
- ・身体拘束廃止に係る介護職員の知識の向上
- ・中重度者受け入れ・重度化対応に係る介護技術の向上
- ・資格取得による専門性の向上
- ・緊急時対応のスキル向上
- ・相談援助スキルの向上

Ⅱ 法人統括

1. 利用者処遇

利用者処遇に関しましては、法人の基本理念に基づき、利用者の方が「生きがいを持てる健全で安らかな生活の保障」を基本として、地域から信頼を得る質の高いサービスの提供を目指すとともに、入所者の人権を尊重し、自己決定や安心感、満足感を満たすサービスの提供に努めてきました。

令和5年度においては、職員配置は確保されているものの、レクリエーションや機能訓練等がまともに行えておらず、退屈な時間を過ごされている利用者も多いことからQOLの低下が心配される状況となっています。これも一部の職員の意識の低さに起因し、「やりたくてもできない状況」があると考えています。反対に自分たちで考えて利用者を楽しんでいただけるような工夫をされている意識の高い職員もいることから、総評でも記載している通り、職員教育や指導、評価の中で優秀な人材を育てることが今後のQOLの担保に繋がると考えています。

また、グループホームでは職員不足と職員の高齢化や能力不足から、重度の利用者に対する身体介護が標準的に行えていない状況があります。今後も介護保険施設である以上重度の方が入所されることが当然予想されるため、忌避するのではなく受け入れをしてケアと処遇を担保できる体制の構築が必要であると考えています。

2. 相談援助

相談援助につきましては、利用者のご家族とのつながりを維持していくため、利用者の心身の状況や変化等に関する情報提供を行いながら連携に努めてまいりました。

令和5年度では、人員配置基準に係る受け入れの一部停止が終わり、年間を通して相当数の受け入れを行ってきたものの、それ以上に退所者数の異常な増加により満床実績にはなっていない状況です。

しかしながら、相談援助体制としての営業成績は確実に実績に反映されており、過去15年以内では平成27年度以降の報酬改定等によるハンデを背負いながらもここ数年が最も入所者数の確保が行えています。

介護老人保健施設からの紹介は報酬改定の影響から減少しており、今後更に減ることが予想されます。医療機関からの紹介は年間を通してかなりあるものの、令和5年度は、入所前に容体の悪化や状態の変化により入所に結びついていない患者が10人程度いたこともあり、入所の数字以上の実績となっています。また家族相談についても生活保護の申請や負担軽減、退所時支援等満足していただいています。

尚、グループホームでは前年に引き続き営業実績がないなど、特養で営業を行うこともあることから、特養管理者と連携し営業を行っていく必要があります。

ショートステイの相談援助では窓口対応に課題があることから、継続して紹介が

いただけるような対応を心がけていきたいと考えています。

3. 健康管理

入所者や利用者の基礎疾患を基にした健康管理を行うとともに、特に予測される病態を把握することにより異常の早期発見、早期受診に努めてきました。

しかしながら、令和5年度は医師の指示のもと施設で行える医療処置や入院調整等早期対応が行えておらず、大きな課題を残す結果となっています。

また、状態変化時の家族への連絡、説明についても時間が空くなど、現在トラブルはないものの潜在的にトラブルの芽を残している状況にあります。

健康管理においても、利用者処遇同様職員教育による是正を今後求めていく必要性があると考えています。

尚、新型コロナウイルスへの罹患による重度化が起因の死者が前年に引き続き発生したことをうけ、感染症への十分な理解の促進と施設内でのチーム連携が必要であると改めて考えています。

4. 職員の資質及び専門性の向上

個々の職員の資質や専門性の向上を図り、運営方針に基づいた「利用者の目線に合わせた質の高い福祉サービスの提供。」に則り、法人全体と各事業所において、年間の研修計画に沿った職員の勉強会や外部講師を招いた施設内研修を実施できるよう努めて参りましたが、令和5年度については、WEBを標準化した法定研修以外の外部研修等を調整する職員がおらず、外部研修に受講する意識が希薄になっていることから研修を紹介するものの受講をしないなど、研修を受講するための構造改革が必要であると考えています。また、最近ではWEBを標準とする研修もかなり多いことから、以前より研修ハードルは低くなっているため積極的に受講できるよう管理者主体で意識改革を同時に行っていく必要があると考えています。

Ⅲ 事業所別事業報告

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】について

(1) 令和5年度の取り組みについて

特別養護老人ホーム「わきたの里」では、地域から信頼を得る質の高いサービスの提供を目指すとともに、入所者の人権を尊重し、自己決定や安心感、満足感を満たすサービスの向上に努めてきました。

また利用者確保につきましては、年間を通して前年度以上の稼働率になるよう努めました。しかしながら、新規入所者数は例年に引き続き高い実績を保っているものの退所者数が多く満床実績には至っていない状況です。また、それ以上の新規入所者数実績となるためには、更に需要の掘り起こしを行う必要があると感じています。

(2) 重点目標の取り組み

①本部運営

令和5年度については、見守り機器導入効果や勤退管理システムの導入による効果により、十分な業務の効率化とリスクマネジメントの向上が図れたと考えています。特に勤退管理システムの導入においては、導入前は1週間以上かかっていた業務が半日も掛からずに終わるなど、目に見えて導入効果が表れています。しかしながら、総評でも述べている通り、新たに職員教育等の問題も生じていることから、継続して課題に取り組む必要性があると考えています。

②介護

介護については、資質や専門性の向上、処遇改善加算に係る取組の推進を目標にしてきました。令和5年度においては、前年度に引き続き外部講師の招集ができておらず、外部研修への参加もほとんどなかったことから、資質や能力の向上という点において、引き続き取り組みを推進していく必要があると考えています。

③看護

看護では、疾病の早期発見・早期治療に努めてきましたが、実態として早期治療に係る外部連携やチーム連携をまともに行えておらず、前述している通り職員教育や指導により、改善していく必要があると感じています。また、報告業務等も早期報告ができていないことも同様に次年度の課題へと繋がっています。

④栄養

栄養については、新型コロナウイルスによる集団感染により、回転寿司等のイベントが中止となり、イベント食のみの提供になったことなどやむを得ない事情を除き委託先や業者、チーム連携においては円滑な業務遂行ができていました。外部連携や研修参加といった自己のスキルの向上については、今後意識啓発と機会の確保を行っていく必要があると考えます。

2. (予防) 短期入所生活介護【ショートステイ】について

(1) 令和5年度の取り組みについて

ショートステイ事業につきましては、在宅介護におけるご家族の心身の負担軽減に努めてまいりました。緊急時でも積極的な受け入れが可能となるよう、職員への周知徹底を図り次の利用につながるよう対応してきました。

ショートステイの長期利用者については、特養の待機者依存となるため引き続き待機者獲得に努めていく必要があります。

また、ショートステイ単体では営業も行っていないため、管理者と連携して営業に力を入れていく必要があると考えています。

(2) 重点目標の取り組み

①相談及び援助

利用者やご家族からの相談に適切に応じるとともに、利用者の置かれている環境の適切な把握に努め必要な助言等を行うなど、信頼関係の構築に努めてきました。

令和5年度は、紹介はまだあるものの窓口対応等によるトラブル等が原因により紹介が減っているため教育や指導による改善が必要と考えています。

②リスクマネジメントの強化

ショートステイにおけるリスクマネジメントについては、チーム連携の課題と前述した窓口対応の課題が残る結果となっており徹底的な予見可能性のリスク把握と施設内部でのチーム連携に係る意識啓発が必要であると考えています。

③緊急時における対応方法

今日まで、ショートステイにおける「緊急時における対応方法」については、利用者の急変への対応や、既存の地震・火災・風水害時の対応に限るものでした。また、この対応も緊急避難や有事対応を中心とするものです。しかし近年では、自然災害による危機意識の向上から一時的な緊急避難としての短期入所利用の需要が高まっていることもあり、令和5年度もなかったものの、緊急で数名から数十名の受入れ要請に対応できるよう体制整備をしていく必要があります。

3. (予防) 認知症対応型共同生活介護【グループホーム】について

(1) 令和5年度の取り組みについて

グループホーム「わきたの里」では、入居者の方々の生活を基本として、入居者の個々の状態を日々把握し、職員内での情報の共有を図りながら笑顔で接することを心がけ、入居者の思いやそれぞれのペースを尊重し、各種の行事や季節の移り変わり等を体感していただきながら、安心して穏やかに過ごしていただけるよう努めてきました。

課題としては、特養と比較し指定基準上の縛りが緩いことから、虐待防止や身体拘束などの介護施設で行う標準的な取組に関し、知識や経験が乏しい側面が挙げられます。そのため、今後の中長期的な課題として特養と比較し遜色がない程度までのスキル向上が求められると考えています。また、稼働率については前年と比較し1人1年実績分低下している状況があるため、高稼働率となるよう調整を行っていきたいと思います。

(2) 重点目標の取り組み

①運営推進会議の活用と推進

2ヶ月に1回(年6回)の定期開催をはじめ、地域・行政・福祉連携のもと様々な意見の抽出を行い、課題解決や取組についての推進に努めてきました。

②入居者の健康管理

嘱託医・歯科医療機関協力のもと利用者様の健康管理に努めてきました。グループホームでは利用者の感染拡大はないものの新型コロナウイルスについては職員の罹患率が特養を上回る結果となっていますので、職員の普段の生活での意識啓発と、感染症の研修を改めて行うことで感染拡大時の対応を迅速かつ適切に行えるよう努めていく必要があります。

③利用者処遇の充実

利用者一人ひとりの状態をもとにプランの見直しを行い、職員間の情報共有と個別ケアにおける支援方法の統一化を図ることで、安心して気持ちの良い支援を受けていただけるよう努めてきました。

④職員の資質と専門性の向上

法人全体での施設内研修をはじめ、年間の研修計画に沿った研修を実施することで、スキルの向上に努めてきました。また前年度に引き続き職員体制の充実のためユニット関係なく全利用者の状態把握が可能となるよう、月ごとに勤務を入れ替え職員一人ひとりが利用者一人ひとりに対し根拠に基づいた専門性の高い介護ができるよう努めてきました。

また、ユニット型という特色もあり、施設内研修は既存のまま開催しスキル向上に努めてきました。

IV 各事業所利用実績

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】

【令和4年度】

入所者の介護度状況

(令和4年3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男性	1	4	7	3	1	16	2.9
女性	0	6	4	10	7	27	3.7
計	1	10	11	13	8	43	3.4

月別入所実績

(延べ人数)

月	人数	1日平均人数	月	人数	1日平均人数
4月	1,536	51.2	10月	1,391	44.9
5月	1,565	50.5	11月	1,362	45.4
6月	1,471	49.0	12月	1,432	46.2
7月	1,536	49.5	1月	1,403	45.3
8月	1,479	47.7	2月	1,208	43.1
9月	1,416	47.2	3月	1,305	42.1
合計				17,104	46.8

【令和5年度】

入所者の介護度状況

(令和5年3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男性	3	2	8	3	1	17	2.8
女性	1	4	7	8	5	25	3.5
計	4	6	15	11	6	42	3.2

月別入所実績

(延べ人数)

月	人数	1日平均人数	月	人数	1日平均人数
4月	1,276	42.5	10月	1,482	47.8
5月	1,349	43.5	11月	1,398	46.6
6月	1,262	42.1	12月	1,477	47.6
7月	1,379	44.5	1月	1,452	46.8
8月	1,440	46.4	2月	1,303	44.9
9月	1,421	47.3	3月	1,331	42.9
合計				17,104	45.2

2. (予防) 短期入所生活介護【ショートステイ】

月別利用実績

月	要支援		要介護					計	延利用者数	1日平均
	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5			
4月	0	0	0	0	10	30	4	44	44	1.47
5月	0	0	0	0	19	0	0	19	19	0.61
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
7月	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0.06
8月	0	0	0	23	12	0	0	35	35	1.13
9月	0	0	33	0	0	0	0	33	33	1.10
10月	0	0	41	0	4	0	0	45	45	1.45
11月	0	0	30	0	0	0	0	30	30	1.00
12月	0	0	17	0	0	0	0	17	17	0.55
1月	0	0	14	5	3	0	0	22	22	0.71
2月	0	0	21	2	0	0	0	23	23	0.79
3月	0	0	15	0	10	0	0	25	25	0.81
4月	0	0	0	0	10	30	4	44	44	1.47
年間延利用者数・年間利用者数平均									295	0.81

3. (予防) 認知症対応型共同生活介護【グループホーム】

入所者の介護度状況

(令和5年3月31日現在)

介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	要支援平均	要介護平均
男性	0	4	2	2	1	0	9	0	2
女性	0	4	1	2	2	0	9	0	2.2
計	0	8	3	4	3	0	18	0	2.1

月別利用実績

月	延べ利用者数	1日平均利用者数	月	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	522	17.4	10月	495	16.0
5月	479	15.5	11月	496	16.5
6月	450	15.0	12月	497	16.0
7月	465	15.0	1月	530	17.1
8月	487	15.7	2月	522	18.0
9月	470	15.7	3月	525	16.9
合計				5,938	16.2

V 事業所別年間研修計画

令和5年度研修報告

特別養護老人ホーム わきたの里

年月	研修課題	対象職員	講師等
R05.04	介護施設向け勉強会動画（リスクマネジメント）（接遇・法令遵守）	1 等級から 4 等級	三杉会グループ介護療養部 (YouTube)
R05.05	コンプライアンス 2 (コンプライアンス違反が 起こる要因)	1 等級から 4 等級	Care styles consulting
R05.06	高齢者の食事と嚥下 (第 5・6 回 食事の姿勢 や介助 食事の準備段階編・食事介助編)	1 等級から 4 等級	Care styles consulting
R05.07	高齢者の権利擁護・虐待防止第 1～3 回	1 等級から 4 等級	Care styles consulting
R05.08	身体拘束 第 1 回	1 等級から 4 等級	Care styles consulting
R05.09	新たな認知症ケア「エマニチュード」とは	1 等級から 4 等級	TBS NEWS DIG powered By JNN (YouTube)
R05.10	緊急時の対応シリーズ 2 介護ができる応急 処置	1 等級から 4 等級	Care styles consulting
R05.11	高齢者の食事と嚥下 3・4 (嚥下のメカニズム、 嚥下とその問題)	1 等級から 4 等級	Care styles consulting
R05.12	神戸市高齢者虐待防止介護従事者研修用映像 「よりよい介護を目指して」	1 等級から 4 等級	Kobecity channel (YouTube)
R06.01	・動きのプロが教える【褥瘡ケア】の考え方 ・踵の褥瘡の治し方を教えてください	1 等級から 4 等級	楽な動きの学習会 (YouTube)
R06.02	身体拘束 第 2・3 回	1 等級から 4 等級	Care styles consulting
R06.03	個人情報とプライバシー 第 1・2 回	1 等級から 4 等級	Care styles consulting

令和5年度特別養護老人ホーム行事報告

特別養護老人ホーム わきたの里

月	行事予定	備考
4月	・誕生会	
5月	・母の日 ・誕生会	・生花を購入し母の日の写真撮影を行う、また写真を掲示する。
6月	・父の日 ・七夕飾りの作成 ・誕生会	・生花を購入し父の日の写真撮影を行う、また写真を掲示する。
7月	・七夕会 ・誕生会	・七夕の飾りの前にて写真撮影し掲示、行事食を提供する。
8月	・アイスクリーム会 ・お盆供養 ・誕生会	・おやつ時にアイスクリームを準備し提供する。冷たいおやつにて季節を感じていただく
9月	・敬老会 ・誕生会	・ご家族も出席され、グループホームと合同にて開催行う。
10月	・工作物作成 ・誕生会	・栗の絵など秋の物の色塗りを行ってもらい飾り付けを行う。
11月	・伊勢ヶ浜部屋の力士慰問 ・演奏会の慰問 ・誕生会	相撲部屋の力士が来苑され談笑し記念撮影行う。 ピアノ・フルート・お琴の演奏を堪能する。
12月	・餅つき ・クリスマス会 ・誕生会	・餅つきの見学に合わせて体験をしていただく。 ・クリスマスケーキを準備し召し上がっていただく、またプレゼントをお渡しする。
1月	・書初め ・誕生会	・書初めをしていただき新年を感じていただく。
2月	・回転寿司 ・誕生会	・コロナクラスターの為、中止する。
3月	・ひな祭り（ひな人形を飾り、記念撮影を行う） ・花見会（桜） （昼食時間を利用し苑内にて花見会を実施し行事食を提供する。また桜の花と記念撮影し写真を掲示・ご家族様へ写真を郵送する。） ・誕生会	・第一・第三土曜日にはカフェと称しコーヒー等を提供しカラオケを開催する。 ・誕生会については毎月第二水曜日に開催し誕生者の紹介、誕生日食の提供を行う。 ・今年度は季節を感じてもらう為に食堂の飾り付けに思考を凝らす。（飾りには利用者が色を塗った物等も使用）

※避難訓練、外出支援は新型コロナウイルス感染症により中止する。

※短期入所生活介護についても以上の行事に準じることとする

令和5年度研修報告

グループホーム わきたの里

年月	研修課題	対象職員	講師等
R05.04	夜間緊急時の対応について	1 等級から 4 等級	特養看護師 角野
R05.05	救命処置と A E D の使用方法	1 等級から 4 等級	担当業者 サニクリーン
R05.06	食中毒の基礎知識と予防について	1 等級から 4 等級	特養 管理栄養士
R05.07	身体拘束について	1 等級から 4 等級	虐待・身体拘束廃止委員 眞野かおる
R05.08	B C P について (GHみやわか研修)	1 等級から 4 等級	管理者 眞野かおる
R05.09	緊急時の実践的な対応について	1 等級から 4 等級	介護主任 折橋美奈
R05.10	身体拘束予防・虐待防止について	1 等級から 4 等級	介護主任 藤川 友子
R05.11	身体拘束ゼロ施設見学会参加について	1 等級から 4 等級	管理者 眞野かおる
R05.12	レクリエーションについて (GHみやわか研修)	1 等級から 4 等級	介護主任 折橋美奈
R06.01	高齢者施設における権利擁護	1 等級から 4 等級	介護主任 藤川友子
R06.02	個人情報とプライバシー保護について	1 等級から 4 等級	介護主任 折橋美奈
R06.03	認知症について～自立支援とはなんですか～	1 等級から 4 等級	管理者 眞野かおる

令和5年度グループホーム行事報告

グループホーム わきたの里

月	行事予定	備考
4月	花見(桜)	昼食時間を利用し苑内にて花見会を実施
5月	母の日	母の日に合わせた記念品を職員が作成し贈呈
6月	父の日	父の日に合わせた記念品を職員が作成し贈呈
7月	七夕祭り	七夕の短冊を書いて頂きそれを飾り夏を感じて頂く
8月	お盆供養	特養でのお供養に参加 向田青年部による盆踊り慰問
9月	敬老会 彼岸供養 花火大会・お月見	特養と合同 ご家族を招待し開催 特養と合同供養 前庭にて職員による花火を実施 一緒にお月見をする
10月	誕生会	お誕生月の方を皆さんでお祝いする
11月	音楽ボランティア	特養にて、外部ボランティアによる演奏会開催
12月	餅つき・クリスマス会	ゲームやプレゼント交換でクリスマスを楽しむ 餅つきの見学に合わせて体験する。
1月	書初め	入居者様に習字を通して新年を感じて頂く
2月	回転寿司 バレンタインデー 節分	コロナのクラスター発生のため中止 男性入居者様にチョコレートを贈る 職員が鬼に扮し、豆まきを楽しまれる
3月	ひなまつり 彼岸供養	お雛様を飾り愛でて雛あられを食べ写真を撮る